



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2014年度 通常総会

1. 2013年度事業報告	1
2. 2013年度決算報告	9
3. 2014年度事業計画(案)	17
4. 2014年度予算(案)	22
5. その他	24

日時：2014年6月7日(土) 16時～

場所：浦和スポーツクラブ・クラブハウス

1. 2013 年度事業報告：採決事項①

月	会議等	事業・プログラム関連
4	07 第1回元気アップネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 3月分 93,400 円 ■ 小川 貴 事務局長就任 28 ニュース vol. 147 発行
5	12 第1回理事会 19 きた!Urawa フェスタ実行委員会 30 市総合型地域 SC 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 4月分 94,400 円 16 文部科学省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」採択 28 ニュース vol. 148 発行
6	02 2012 年度総会 17 きた!Urawa フェスタ実行委員会 23 元気アップネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 5月分 94,700 円 ■ 文科省事業コーディネーター・トップアスリート派遣開始 01 小学校体育活動コーディネーター説明・研修会 28 ニュース vol. 149 発行 30 きた!Urawa フェスタ開催
7	13 第2回理事会 18 市多目的広場管理運営協議会 22 キッズテニス実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 6月分 94,700 円 28 ニュース vol. 150 発行
8	04 元気アップネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 7月分 109,200 円 23~24 工作教室 23 実験理科教室 28 ニュース vol. 151 発行
9	22 第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 8月分 68,900 円 ■ 元気アップサロン開始(原則月4回、第3週浦スポ担当) 21 市総合型地域 SC 広報イベント(埼玉スタジアム) 28 ニュース vol. 152 発行
10		<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 9月分 101,800 円 28 ニュース vol. 153 発行
11	11 キッズテニス実行委員会 16 第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 10月分 103,400 円 02 第1回見沼ウォーク開催 14 第7回キッズテニス大会 28 ニュース vol. 154 発行 ■キッズテニス全国大会で中尾小6女子・小1男子入賞 29 フラッグフットボール教室
12	03 文科省事業報告公開セミナー 16 市総合型地域 SC 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 11月分 105,200 円 ■ ヨネックス助成金申請書提出 フラワーアレンジメント教室開催 06,13 フラッグフットボール教室 26 ニュース vol. 155 発行
1	11 テニス部門運営会議 12 第5回理事会 18 埼玉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会臨時総会 25 元気アップネットワーク全体会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 12月分 101,600 円 10,17,24 フラッグフットボール教室 28 ニュース vol. 156 発行
2	15 正副理事長会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 1月分 95,200 円 23 ランニング教室 28 ニュース vol. 157 発行
3	02 第6回理事会 03 市民リーグ代表者会議 23 きた!Urawa フェスタ実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 2月分 97,800 円 01,09 ランニング教室 16 さいたまマラソン補助員3名参加 21 浦スポ主催 テニス交流大会 30 ニュース vol. 158 発行

4	19 元気アップネットワーク全体会議 26 第1回理事会	■ 子どものスポーツ支援3月分 93,400 円 ニュース vol. 159 発行
5		■ 子どものスポーツ支援4月分 83,500 円 ニュース vol. 160 発行

(総論)

2013年度は、次のような特徴的なできごとがありました。

- 1 文科省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業
- 2 きた！Urawaフェスタ2013の開催
- 3 元気アップネットワーク活動の定着化
- 4 企画委員会事業開始
- 5 子供のスポーツ支援プロジェクト
- 6 消費税納税
- 7 役員・職員

1 文部科学省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業

《目的・主旨》

この事業は、スポーツを普及・定着させ、スポーツを人々にとって身近なものとするためには、地域スポーツクラブ、学校、地方公共団体、スポーツ団体、企業などが組織の違いを超えて連携することにより、地域スポーツとトップスポーツの垣根をなくし、人材の好循環を生み出すことが必要です。

併せて、「新しい公共」という観点においては、地域住民が行政に依存するのではなく、主体的に学校の体育活動も含めた地域のスポーツ環境の形成を図り、スポーツを通して地域の課題(子育て等)の解決に資する取組を促進することが必要です。また、小学校においては、学校の小規模化や教員の高齢化等により、体育の授業において児童に手本を見せるのが難しい場合があり、民間人の活用を含めた地域での教育支援体制の強化が必要です。

このため、拠点となる総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」という。)はもとより、地域のスポーツクラブなどにおいて、以下の取組を行うスポーツ人材を活用し、地域スポーツとトップスポーツの好循環を推進します。

《事業内容》

(1) トップアスリート等によるジュニアアスリート支援等の実施

周辺の総合型クラブ等が実施するジュニアアスリート等を対象とするスポーツ教室にトップアスリート及びアシスタントコーチを派遣する巡回指導を実施。

(2) 地域の課題解決のに向けた取組の推進

地域課題(子育て等)の解決に向けたプロジェクトの企画立案と、(1)及び(3)の事業を円滑に行うための連絡調整を実施。

(3) 小学校体育活動コーディネーターの派遣

小学校の体育活動(体育授業や体育的活動)の計画を補助したり、担任等とチームティーチングで体育活動に取り組む支援の実施。

《実施状況》

■ トップアスリート等による巡回指導の実施について

(1) 派遣先

大宮キッズ、さいたまスポーツクラブ、岩槻アスレチッククラブ
 県立浦和高校、市立浦和高校、浦和南高校、いずみ高校、浦和北高校、大宮高校、
 大砂土中学校、日進中学校、木崎中学校、原山中学校、本太中学校、

(2) 派遣トップアスリート

斉藤 清 氏(卓球) 大橋裕二 氏(陸上) 藤光謙司 氏(陸上) 石田洋平 氏(テニス)
 片山卓哉 氏(バドミントン)

(3) 派遣アシスタントコーチ

舟山勝明氏(卓球) 池田金作氏(陸上) 梶谷千恵子氏(テニス) 片山さおり氏(バドミントン)

■地域の課題解決に向けた取組の推進

(1) 大運動会の開催 平成25年6月30日(日) 浦和高校グラウンド

多世代交流イベント 「きた!Urawa フェスタ2013 ~ふれあい×防災×運動会~」

参加者 約600名(近隣住民等)

(2) 子どものマルチスポーツ教室(フラッグフットボール教室)

期間 平成25年11月29日(金)~1月24日(金)の6回

会場 駒場体育館

講師 埼玉県アメリカンフットボール協会フラッグフットボール指導員

参加者 20名(小学3年~6年)

(3) 大人の陸上教室(ランニング教室)

期間 平成25年2月16日(土)~3月9日(土)の4回(2月16日は降雪のため中止)

会場 駒場競技場

講師 楠田昭徳氏(スマイルランニングクラブ代表)

参加者 52名(さいたまシティマラソン参加者ほか)

「さいたまシティマラソンを制限時間内に完走しよう!」をテーマに概ね初心者~中級者を対象に、ゆっくりとしたペース走を中心に楽しく行われました。子どもたちの参加もあり、子ども、初級大人、中級大人の3カテゴリーに分けそれぞれの能力にあった指導をしていただきました。さいたまシティマラソンではほとんどの方が制限時間内に完走できました。

■小学校体育活動コーディネーターの派遣について

(1) 派遣先

本太小学校、木崎小学校、三室小学校、上木崎小学校、大東小学校、
仲町小学校、栄和小学校、善前小学校、河合小学校、常盤小学校

(2) 派遣日数・時間数

概ね週2日、8時間以内

(3) 派遣コーディネーター

一般	(中・高保健体育教員免許取得)	1名
埼玉大学教育学部大学院生	(中・高保健体育教員免許取得)	4名
埼玉大学教育学部4年	(中・高保健体育教員免許取得見込)	9名

2013年度をもってこの事業は終了いたしました。3年間の事業でしたが、小学校体育活動コーディネーターの派遣においては、地域との連携小学校との連携がうまれました。トップアスリートの派遣においては、中学校高等学校の部活動との連携や小学生の地域クラブとの連携が生まれました。また、地域課題解決への取組においては、地域包括支援センターをはじめ近隣自治会や行政との連携も生まれました。このことにより、地域スポーツクラブのみならず、多様な主体と連携することができ、活動のステップアップにつながったと思います。

2 きた!Urawa フェスタ2013の開催

北浦和サッカー少年団、北浦和ふれあいプレイランド、北浦和消防団、包括支援センタースマイルハウスと実行委員会を結成し、地域の大運動会を6月30日(日)に浦和高校グラウンドを借りて開催しました。

昨年に引き続き2回目の開催ですが、今年は「ふれあい」を新たにテーマに加え、「防災×ふれあい×運動会」

と称して開催しました。

地元地域の商店街からの出店や、地域の方々によるフリーマーケットなどの店舗コーナーを新設したほか、昼休みには、木崎のお囃子、北浦和のマーチングなどの出演もあり、いろいろな交流を創出することができました。

防災コーナーでは、市消防局が起震車を出動し、多くの方が地震体験をされていました。消防士の又々も登場、子ども達に大人気でした。

当日は約600名の来場者を得て、楽しい時間を共有することができました。

地域スポーツクラブがコミュニティの中で発展していくためには、多分野・他分野の活動との連携はとて大切になります。本事業は、そのきっかけを得る貴重な機会です。このイベントをとおして、商店会や地元自治会などのつながりが出たり、これまでクラブを知らなかった方々に知っていただくことができるなど、多くの効果が得られました。



3 元気アップネットワーク活動の定着化

「元気アップネットワーク」の運営に参加し、クラブの具体的な活動として、運動マップの作成配布と元気アップサロンの企画運営の一部を担当しました。

運動マップは、シニア年代向けの運動教室や健康づくりのための指導を受けられる身近な施設や事業所について、地域の高齢者に広報するために作成したのですが、浦スポがこの編集、印刷などを手配しました。

「元気アップサロン」は、平成25年9月26日の開所式から、毎月4回実施しています。毎月4回のうち第3週を浦和スポーツクラブが担当しています。

さらに、本太中学校の空き教室利用について、校長先生が代わられたため、改めて空き教室の利用についてお願いに伺ったところご快諾をいただき、毎週月曜日と水曜日の午前午後の4クラスが活動しています。

今後もシニア向けの各種事業をとおして地域の学校や自治会等との協力関係を保ち、地域内でのクラブのポジションを高めていきたいと思ひます。

4 企画委員会プロジェクト

企画委員会が発足し、春夏秋冬の期ごとに担当を決め企画立案し実施しました。

夏：当初の8月開催は、交流先クラブの調整がつかず、9月にあらためて企画しましたが、残念ながら参加者が少なく中止しました。

秋：11月2日（土）に見沼ウォークを企画し22名の参加で行われ、秋の1日を満喫しました。

冬：12月5日（木）にフラワーアレンジメントが15名の参加で行われ、素敵な制作物を持ち帰りました。

春：ソフトボール大会を企画する予定でしたが、都合によりなくなりました。

5 子どものスポーツ支援プロジェクト

クラブネットが主幹して全国の地域スポーツクラブに呼び掛けた「子どものスポーツ支援プロジェクト」に参加し、平成23年8月から、参加を希望しない会員をのぞき、100円/世帯・月を集めプロジェクトに送金してきています。

平成25年度は、毎月ほぼ10万円を集め1年間で約120万円を「子どものスポーツ支援プロジェクト」に送金しました。

2011年8月からこれまでの支援総額は、約350万円になります。

被災地のスポーツクラブは、イベント的な活動から定期的な活動にやっと移行してきたクラブが増えてきたようです。しかし、いまだに仮設住宅等の関係でスポーツ施設が十分に使えずに、日々の活動に苦労されているクラブの少なくないようです。

スポーツが普通に出来るありがたさに感謝しながら、自分達にできる形で被災地の支援を続けていきたいと思えます。

6 消費税納税

これまで浦和スポーツクラブでは、市民による市民のための互助組織という認識のもと、消費税については徴収・納税していませんでしたが、浦和税務署による税務調査を受け、消費税の申告・納税をしなければならなくなりました。税務調査から現在までの経緯は、以下のとおりです。

- 10月10日（木）～11日（金）

浦和税務署の上席国税調査官による税務調査が実施され、浦和スポーツクラブの概要説明と会計関係書類を過去7年間にまでさかのぼり資料を提供しました。

- 12月16日（月）

税務調査結果報告のため浦和税務署上席国税調査官が来所し、以下のとおりの回答がありました。

- 消費税について過去5年間にさかのぼって消費税の納税が必要
- 法人税については、収益がほとんどないため、申告の必要はない

- 2月3日（月）

税理士と相談の上、税務署との調整を経て、本税 7,615,000 円を納税しました。

加算税(1,393,000 円)、延滞税(807,400 円)については、平成 25 年度の決算状況を見て、税理士と相談し、平成 26 年の早い時点で納税する予定です。

なお、平成 25 年度分の消費税(1,557,500 円)についても平成 26 年 5 月 27 日(火)に納税しました。

7 役員職員の異動

- 萩原紀男副理事長が病气療養中平成 26 年 1 月 28 日に御逝去されました。
- 平成 25 年 4 月 小川貴が事務局長に就任しました。

萩原副理事長は、浦和スポーツクラブテニス部門を発足され、その発展に多大なるご貢献をいただきました。会員役員一同、心からご冥福をお祈り申し上げます。

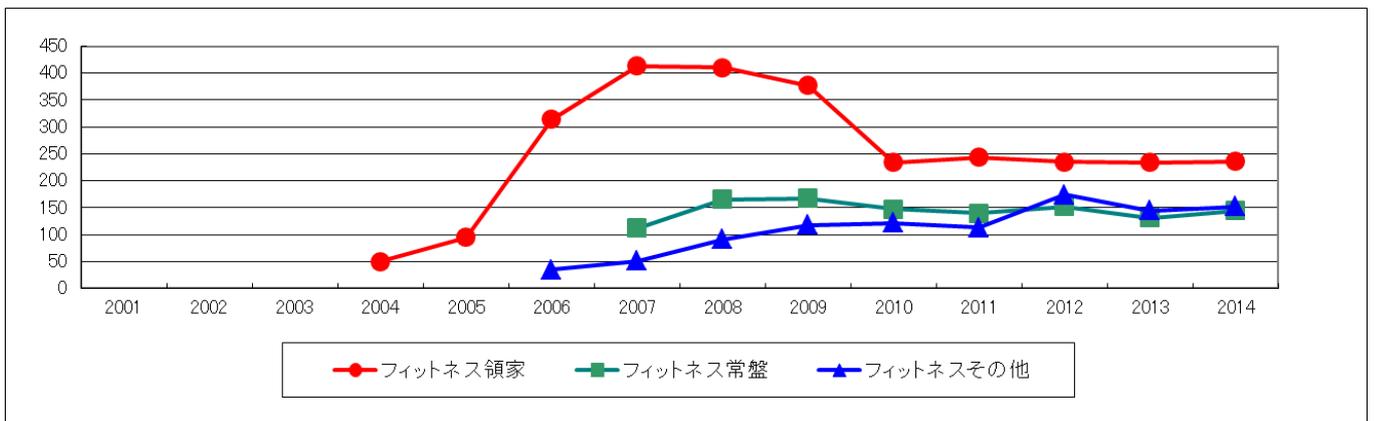
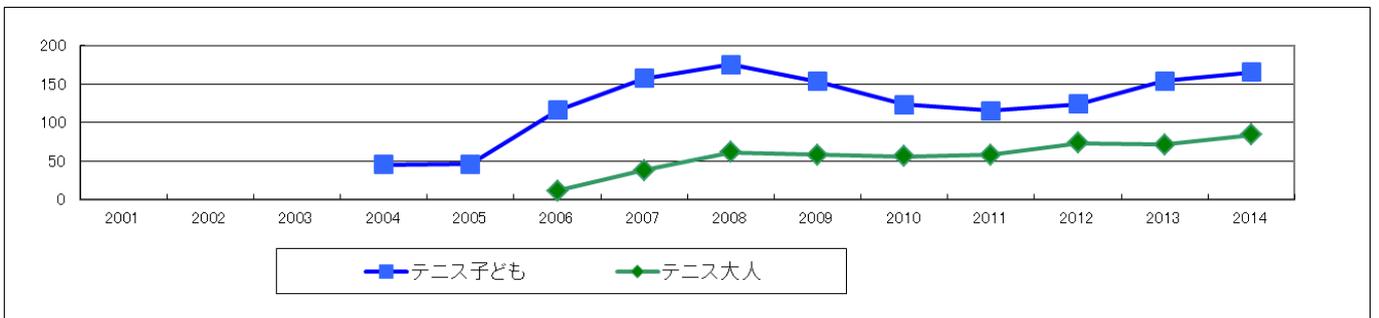
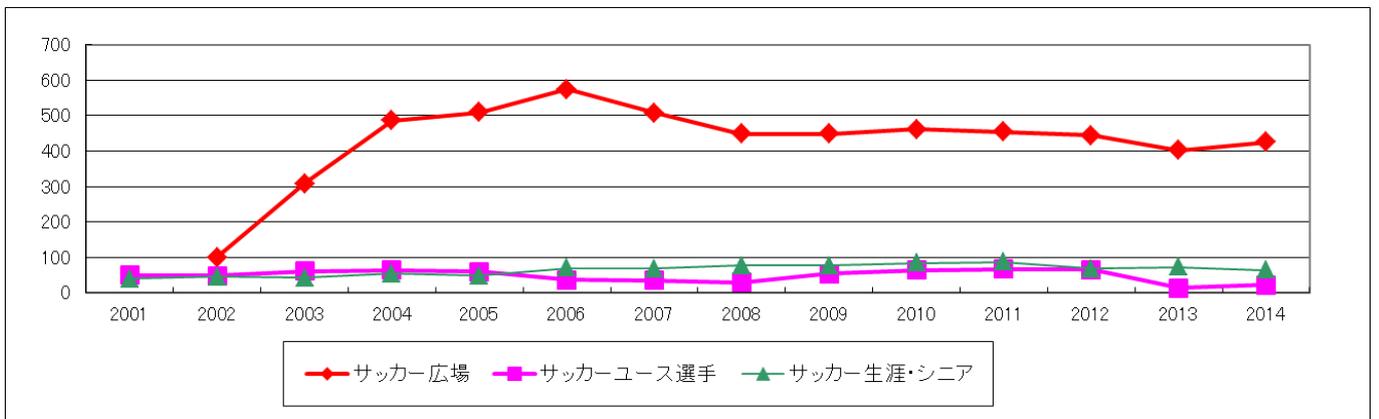
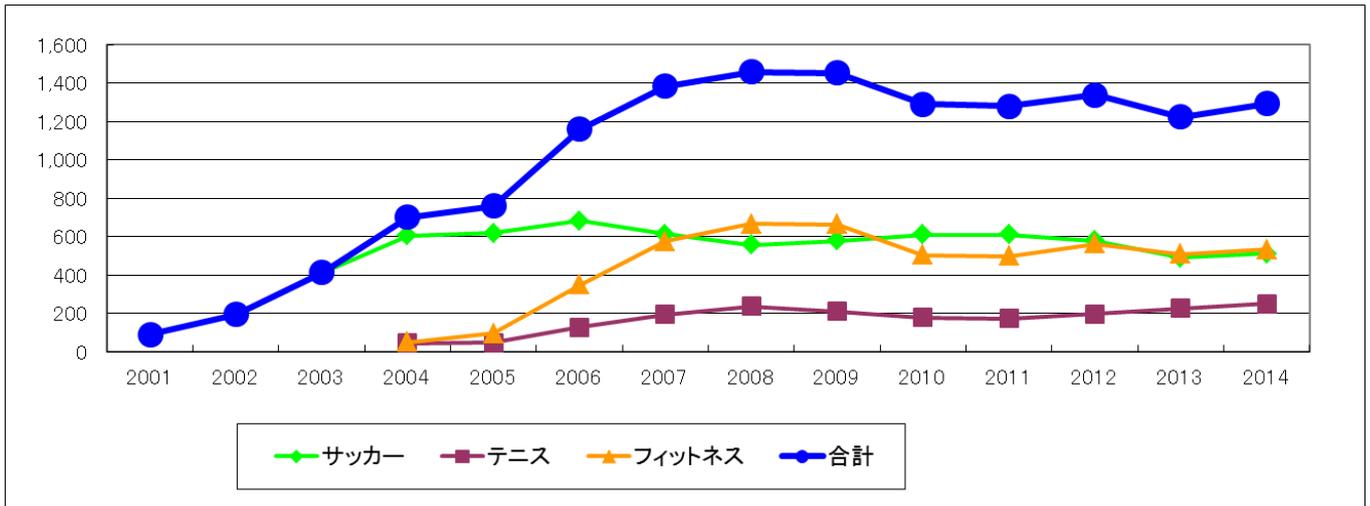
年度当初事業計画と成果

2013年度当初事業計画	成果
<p>1 多目的広場等活動拠点の確保（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、見沼んぼの公有地の活用に関する署名活動と要望書の提出（県、市）や、元町2丁目の児童相談所跡地の活用に関する要望書の提出（市）などの活動を行ってきました。 ・今年度も、引き続き、公共や民間の遊休地等を対象として、クラブが管理運営するスポーツもできる拠点の実現にむけて活動を展開します。 ・これらの拠点は、クラブでも利用しますが、地域の方々にも広く利用していただく機会を設けていくことを想定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 見沼んぼの公有地について、情報収集を続けていますが、特に進展はありませんでした。
<p>2 被災地のクラブの仲間への継続的支援（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地の復興には、長い年月がかかると考えられています。私たちは、同じ地域スポーツクラブの仲間を支援し続けることとします。 ・被災の影響が大きかった地域では、まだ、スポーツ活動もままならないクラブもあると聞いています。これから活動を再開するに際して、私たちの応援が、少しでも役にたつことを願っています。 ・具体的には、支援金や支援物資の調達、さらには、クラブ間の交流事業などをとおして、無理なく長く続けられることを実施していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度は、毎月ほぼ10万円を集め1年間でおよそ120万円をプロジェクトに送金しました。 ○ これまでの支援総額は、約350万円になります。
<p>3 既存活動の充実、発展を図る</p> <p>(1) 全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブメンバーシップを育む 指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブの会員として、クラブで活動していく組織としていきます。また、家族で参加しやすいクラブとなることを目指します。 ・交流事業の実施 各種会員やその家族が、種目の壁を越えて参加し交流できる事業を実施します。 	<p>企画委員会が発足し春夏秋冬の4期ごとに担当を決め、交流事業を企画立案し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夏：9月に合宿を企画し募集したが参加者が少なく中止 ○ 秋：11月2日（土）に見沼ウォークを開催し22名が参加。 ○ 冬：12月にフラワーアレンジメントを開催し、15名が参加。 ● 春：ソフトボール大会を企画する予定でしたが、都合により中止
<p>(2) サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場の会員増加とプログラムの充実をはかります ・U18の指導体制を確立します ・生涯コースの会員増加を図ります。 ・指導者の確保を図ります ・スーパーシニア広場の会員増をはかります 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広場の木曜日コースの会員が増えなかった。 ○ U18は、埼玉大学サッカー部により充実した指導が行われるようになった。 ● 生涯コースの指導者確保、会員増が果たせませんでした ○ スーパーシニアはじょじょに増えています
<p>(3) テニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の増加を目指します。 ・自前のテニスコート確保に努力します。 ・市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。 ・駒場体育館自主事業を積極的に進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大人の会員が微増した。 ● 日通テニスコートが11月より借用することができるようになった。 ○ 市民大会への参加は徐々に増えている。 ○ 駒場体育館自主事業から浦スポプログラムへの継続移動は、大人・キッズテニス両部門で成果があった。

<p>(4) フィットネス</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均して1クラス17人(現在14.6人)を目標に会員の増加、確保を図ります。 スタジオのさらなる活用を進めます のびのびスポーツ広場の会員増加をはかります。 	<p>○フィットネス部門のプログラムの見直しが行われた。</p> <p>○シニア筋トレ教室は、3年目になり継続性が出てきた。</p> <p>●のびのびは、幼稚園から1年生への継続が少なかった。</p>
<p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます 	<p>○シニア運動教室が、月水各2講座合計4講座に増設した。</p> <p>○シニア運動教室がテレビで紹介された。</p>
<p>4 地域のスポーツ振興に取り組む</p> <p>(1)「第7回キッズテニス大会inSAITAMA」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の主管を努めます。 実施に際しては、大人のテニス会員や、キッズテニス会員の保護者の皆様にもご支援いただきたいと考えています。 <p>期日：2013年11月14日(木) 県民の日</p> <p>場所：さいたま市立浦和駒場体育館</p> <p>主催：キッズテニス大会inSAITAMA実行委員会</p> <p>構成団体(予定)：NPO法人浦和スポーツクラブ、鴻巣プレス</p>	<p>○第7回キッズテニス大会を11/14に開催した</p> <p>○協賛メーカーから担当者が見学に来訪、次回からはブースも出したいとの提案を受けた</p>
<p>(2) 文部科学省事業に基づく取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の学校やクラブと連携して子どもたちを育てる拠点的なクラブとなれるよう努めます 	<p>○近隣小学校10校に14人の小学校体育活動コーディネーターを総時間数2059時間派遣した。</p> <p>○卓球、陸上、テニス、バドミントンの4種目において、地域のジュニアスポーツクラブ、中学校、高等学校の部活動にトップアスリートを43回総時間数157時間派遣した。</p>
<p>(3) 浦和東部地区元気アップネットワークの活動展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会や自治会との連携を特に進めます 	<p>○元気アップサロンが9月下旬から開始され、領家公民館において毎月4回の実施している。毎月第3週を浦和スポーツクラブで担当している。</p>
<p>(4) そのほか</p> <ul style="list-style-type: none"> 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます。2014年からの第2期受託にむけて申請する きた!Urawaフェスタ2013を成功させます 星空スポーツの充実を継続して開催するとともに、参加者のクラブへの理解を進めます クッキープロジェクトに参加し、地域の作業所を支援します 被災地支援を継続して行い、被災地のスポーツ振興に取り組む 	<p>○浦和駒場体育館の埼玉シズとのJVによる指定管理者となった。指定管理は平成14年度から4年間である。</p> <p>○6月30日(日)に浦和高校グラウンドにおいて、ふれあい×防災×運動会のテーマのもと、きた!Urawaフェスタ2013が開催され、約600人の参加があった。</p> <p>○クッキーのセルフ販売を事務所2階で実施した。</p> <p>○子どものスポーツ支援プロジェクトに継続参加している。今年度約120万円を支援した。</p>

参考/2006年~2014年のクラブ会員数(各年5月末)

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
サッカー広場		100	308	486	509	575	508	449	448	461	454	445	402	425
サッカーユース選手	50	48	62	65	60	37	35	29	54	64	67	66	14	22
サッカー生涯・シニア	40	45	42	54	48	70	69	78	77	84	88	68	73	65
テニス子ども				45	46	116	157	175	153	123	115	124	154	165
テニス大人						11	38	61	58	56	58	73	71	84
フィットネス領家				50	95	314	413	410	377	234	244	235	234	236
フィットネス常盤							112	165	167	147	140	152	131	144
フィットネスその他							35	51	91	118	121	113	144	152
サッカー	90	193	412	605	617	682	612	556	579	609	609	579	489	512
テニス				45	46	127	195	236	211	179	173	197	225	249
フィットネス				50	95	349	576	666	662	502	497	561	509	532
合計	90	193	412	700	758	1,158	1,383	1,458	1,452	1,290	1,279	1,337	1,223	1,293



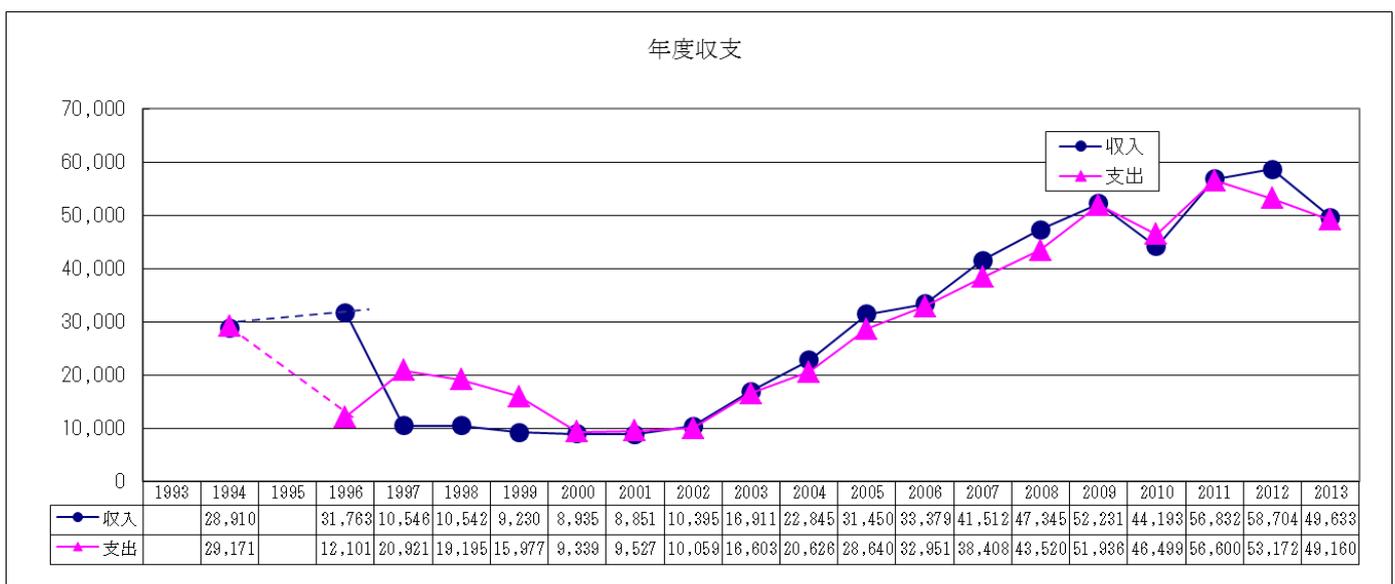
2. 2013 年度決算報告 (2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日) : 採決事項②

- これまで税込経理を行ってきましたが、消費税率の上昇に伴い、決算状況が不明確なることを回避するため 2013 年度より税抜経理で処理することを理事会で承認されました。ただし、過年度との対比においては、税込金額を用いています。
- 収入総額は約 4,963 万円 (税込) となり、昨年よりも 887 万円減少しています。これは主に助成金 (toto)、委託費 (文科省、厚労省) の減少によるものです。
- 会費収入は、2012 年度 3,672 万円に対し、2013 年度は 3,586 万円 (税込) と 86 万円ほど減少しています。
- 単年度の収支では、税抜き決算では 105 万円の赤字になりました。(税込では 47 万円の黒字)
2013 年 4 月～12 月の会費からは消費税をお預かりしていませんが、この分の消費税を納税することになったためです。なお、2014 年 1 月以降は消費税をお預かりしています。
- 国税局の税務調査から消費税を過去 5 年分納税しなければならなくなり、これまでのクラブの財産でどうにか納税することができました。今後は税理士の指導を受けながら、適正な税務処理、支出構造の見直し、会員の増加を図り、会費収入を柱とした安定財源による各部門の黒字化を早期に達成しなければいけません。

(年度収支と過年度との比較)

年度	2013 年度			過年度				
	予算	決算 (右欄は税抜)		2012	2011	2010	2009	2008
収入	39,727,300	49,633,025	47,416,123	58,703,513	56,831,667	44,193,061	52,230,623	47,344,612
支出	39,481,815	49,160,007	48,468,027	53,172,322	56,599,580	46,498,600	51,936,213	43,520,329
収支	245,485	473,018	-1,051,904	5,531,191	232,087	-2,305,539	294,410	3,824,283
繰越		4,748,518	3,198,782	10,889,730	5,378,539	5,136,442	7,464,071	7,169,661

*2013 年度の繰越金減少は、過年度消費税納税のため



■ 年度収支の経年変化 (単位: 千円) ■

平成 25 年度 貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日 現在

NPO 法人浦和スポーツクラブ

(税抜 単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,888,396		
未収会費	244,900		
未収金	107,532		
未収助成金	1,240,000		
前払費用	754,580		
流動資産合計		18,235,408	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物附属設備	1,450,486		
車両運搬具	14,434		
什器備品	58,801		
リース資産	575,200		
有形固定資産 計	2,098,921		
(2) 無形固定資産			
電話加入権	76,440		
無形固定資産 計	76,440		
(3) 投資その他の資産			
敷 金	746,000		
投資その他の資産 計	746,000		
固定資産合計		2,921,361	
資産合計			21,156,769
II 負債の部			
1. 流動負債			
前 受 金	398,855		
未 払 金	2,289,002		
預 り 金	240,879		
文科省助成金未出金	10,654,791		
未払消費税等	3,757,900		
流動負債 計		17,341,427	
2. 固定負債			
リース負債	616,560		
固定負債 計		616,560	
負債合計			17,957,987
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		13,570,691	
当期正味財産増減額		△ 10,371,909	
正味財産合計			3,198,782
負債及び正味財産合計			21,156,769

平成 25 年度 活動計算書 (1)

自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日

NPO 法人 浦和スポーツクラブ

(税抜 単位 : 円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	85,000		
賛助会員受取会費	110,000		
受取入会金	8,000	203,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	40,500	40,500	
3. 受取助成金等			
受取助成金	2,830,000	2,830,000	
4. 事業収益			
事業収益	34,150,556		
受託事業収益	9,514,833	43,665,389	
5. その他収益			
受取利息	1,315		
用具等販売	675,919	677,234	
経常収益 計			47,416,123
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料 手当	1,441,000		
諸 謝 金	28,443,325		
通 勤 費	536,028		
法定福利費	280,012		
福利厚生費	9,908		
人件費計	30,710,273		
(2) その他経費			
車 両 費	230,389		
消耗品 費	2,146,721		
水道光熱費	119,271		
賃 借 料	3,110,213		
登 録 費	101,500		
保 険 料	901,330		
外 注 費	3,105,500		
雑 費	179,867		
その他経費計	9,894,791		
事業費 計		40,605,064	

平成 25 年度 活動計算書 (2)

(税抜 単位：円)

科 目	金 額		
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料 手当	1,696,000		
アルバイト給料	546,298		
法定福利費	280,011		
福利厚生費	9,907		
人件費計	2,532,216		
(2) その他経費			
印刷費	171,673		
会議費	17,806		
通信運搬費	1,212,977		
事務消耗品費	233,620		
備品消耗品費	272,715		
水道光熱費	278,299		
賃借料	1,209,342		
減価償却費	610,600		
保険料	225,600		
諸会費	27,000		
リース料	207,784		
租税公課	102,700		
支払手数料	652,973		
雑費	107,658		
その他経費計	5,330,747		
管理費計		7,862,963	
経常費用計			48,468,027
当期経常増減額			△ 1,051,904
Ⅲ 経常外収益			
1. 過年度受託事業収益		496,295	
経常外収益計			496,295
Ⅳ 経常外費用			
1. 過年度消費税等		9,816,300	
経常外費用計			9,816,300
当期正味財産増減額			△ 10,371,909
前期繰越正味財産額			13,570,691
次期繰越正味財産額			3,198,782

財務諸表の注記

NPO法人 浦和スポーツクラブ

平成26年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却しています。

(2). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜経理方式によっています。

【借入金の増減内訳】

借入金はありません

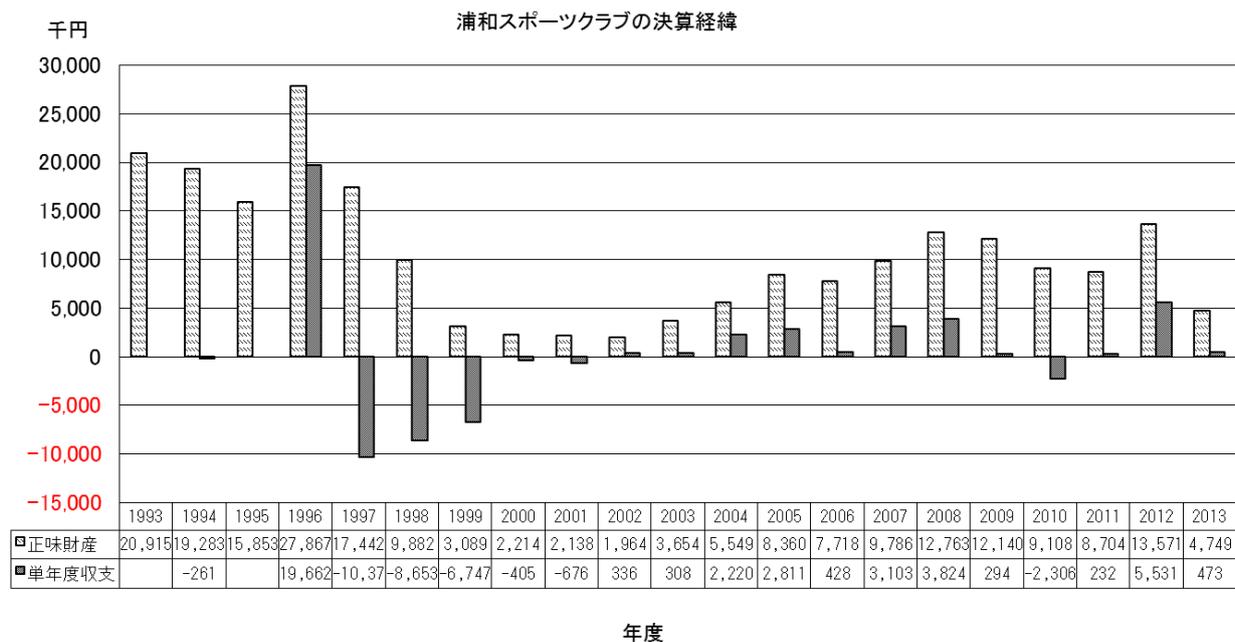
【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引はありません。

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

平成20年度から平成24年度の消費税等について指摘を受け、平成26年2月に過去5年分の消費税等¥7,615,900を支払いました。

平成25年度分消費税等¥1,557,500と過去5年分延滞税¥807,400、加算税¥1,393,000の支払を次年度に予定し、未払消費税等として計上しています。



監査報告書

平成26年6月4日

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ
理事長 戸 蒔 晴 彦 殿

監事 三 戸 一 嘉 

監事 柴 崎 栄 一 

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成26年4月1日から平成26年3月31日までの2015年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、活動報告書、並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査の結果の意見は次のとおりである。

- (1) 理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成26年3月31日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以 上

3. 2014年度事業計画(案):採決事項③

(1) 年間予定

月 日	行 事	会 場
4月26日(土)	理事会	クラブ事務所
6月 4日(水) 5日(木) 7日(土) 29日(日)	監査 さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会 総会 きた!Urawaフェスタ2014	クラブ事務所 さいたま市役所 クラブ事務所 県立浦和高校グラウンド
7月	理事会	クラブ事務所
8月	企画委員会行事(合宿)	未定
9月 20日(土)	理事会 さいたま市総合型地域スポーツクラブ広報イベント	クラブ事務所 埼玉スタジアム2002
11月 15日(土)	企画委員会行事(見沼ウォーク) 第8回キッズテニス大会inSAITAMA 理事会	見沼田んぼ さいたま市立大宮武道館 クラブ事務所
12月	企画委員会行事 さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会	未定 さいたま市役所
1月	理事会	クラブ事務所
3月	理事会 テニス交流大会 さいたまシティマラソン補助員	クラブ事務所 浦和駒場体育館 マラソンコース給水所等

(2) プログラム

①サッカー

- 各コースの会員増加をはかります
- スーパーシニア広場の会員増をはかります

②テニス

- テニス会員の増加を目指します。
- 自前のテニスコート確保に努力します。
- 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。
- 駒場体育館自主事業を積極的に進めます。

③フィットネス

- 平均して1クラス17人(現在14.6人)を目標に会員の増加、確保を図ります。
- のびのびスポーツ広場の会員増加をはかります。

④その他

- シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。
- 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます。

(3) 特別プロジェクト

①PR・広報

- 毎月発行している浦和SCニュースの充実を図ります。
- ホームページの充実を図ります。
- 各種イベントのポスター・チラシの工夫を図ります。

②クラブメンバーシップをはぐくむ

1) 会員による会員のためのクラブ

- 指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブの会員として、クラブで活動していく組織としていきます。
- また、家族で参加しやすいクラブとなることを目指します。

2) 交流事業の実施

- 会員やその家族が、種目の壁を越えて参加し交流できる事業を実施します。

③多目的広場等活動拠点の確保（継続）

スポーツクラブの良さを高めていき、クラブメンバーの交流、地域との交流を活性化するためには、拠点施設が必要なことが、国内外の事例や研究でも指摘されています。浦スポは、事務所とスタジオを賃貸で所有することができていますが、屋外スポーツやレクリエーションではこれを実現できていません。

昨年度は、見沼たんぼの公有地の活用に関する署名活動と要望書の提出（県、市）や、元町2丁目の児童相談所跡地の活用に関する要望書の提出（市）などの活動を行ってきました。

今年度も、引き続き、公共や民間の遊休地等を対象として、クラブが管理運営するスポーツもできる拠点の実現にむけて活動を展開します。

これらの拠点は、クラブでも利用しますが、地域の方々にも広く利用していただく機会を設けていくことを想定しています。

④被災地のクラブの仲間への継続的支援（継続）

被災地の復興には、長い年月がかかると考えられています。私たちは、同じ地域スポーツクラブの仲間を支援し続けることとします。

被災の影響が大きかった地域では、まだ、スポーツ活動もままならないクラブもあると聞いています。これから活動を再開するに際して、私たちの応援が、少しでも役にたつことを願っています。

具体的には、支援金や支援物資の調達、さらには、クラブ間の交流事業などをとおして、無理なく長く続けられることを実施していきます。

⑤「第8回 キッズテニス大会inSAITAMA」の開催

第8回キッズテニス大会inSAITAMAの実行委員会の主管を努めます。

実施に際しては、大人のテニス会員や、キッズテニス会員の保護者の皆様にもご支援いただきたいと考えています。

期日：2014年11月15日(土)

場所：さいたま市立大宮武道館

主催：キッズテニス大会inSAITAMA実行委員会

構成団体（予定） NPO法人浦和スポーツクラブ、鴻巣プレスほか

⑥文部科学省事業に基づく取り組み

「拠点クラブ」を核としたエリアネットワーク構築に関する実践研究

⑦浦和東部地区元気アップネットワークの活動展開

- 元気アップサロンの参加者数の拡大と内容の充実を図ります。
- 運動マップの作成配布に力を入れます。

⑧そのほか

1) 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます

2) 地域部会を開催し、地域と連携した事業展開を図ります

→きた！Urawa フェスタ 2014の実行委員会に加盟（文科省事業 地域課題解決にも位置づけ）、地域の各種団体や自治会との連携を進めます（6/29に予定）

3) 星空スポーツの充実を継続して開催するとともに、参加者のクラブへの理解を進めます

○スポーツプログラム（2014.4～）

部門	コース	概要
サッカー	広場	幼稚園生～小学6年生を対象に、サッカーで遊ぼうを合い言葉に、週1回1時間、ミニゲームを中心に活動。約500名が参加。
	スクール	小学校5年生を対象として、個人技術の習得を目的としたスクール。水曜日午後6時～浦和高校
	ユース	中学生・高校生（U-18）。水・土・日の夜に浦和高校で活動。少人数ですが、埼玉大学サッカー部が丁寧に指導をしています。
	生涯	生涯スポーツとして楽しみながらサッカーを続けることを目的に活動。選手を目指さずに続けたい中学生や高校生も参加可。市民リーグにも参加しています
	スーパーシニア広場	60歳以上を対象。木曜日サッカー広場の前の時間（13時～15時頃）に実施。
テニス	キッズテニス	幼稚園年長～小学校中学年までを対象に、体育館で行うスポンジボールのテニス。4箇所で開催中。約90名が参加。
	インドアテニス	小学校高学年を対象として、キッズよりやや固めのボールで実施。本太、中尾、三室、北浦和小の体育館でそれぞれ開催。約70名が参加。
	ジュニアテニス	小学校3年生以上を対象とした、屋外での本格的なテニス。平日夜のナイト練習。主に天沼テニスコート。
	親子テニス	ジュニアテニスの送迎でこられる保護者の方々を対象に、一般向けのクラスを開催。
	初級テニス	初級者を対象に、初歩から丁寧に教える。市内各地のコート。
	中級テニス	中級者を対象に、市内各地のコートで開催。
	シニアテニス	60歳以上を対象、市内各地のコートで開催。
フィットネス	スタジオプログラム	別表
	のびのびスポーツ広場	様々なスポーツをとおして、総合的に運動能力を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 年中・年長クラス ■ 小学校低学年クラス ■ 小学校高学年クラス
	太極拳	主に高齢者を対象としたプログラム。楊明時太極拳。
	バレエ	和泉伽甫留バレエ教室との共同開催。幼稚園～小学生。
地域貢献	星空スポーツ広場	浦和高校グラウンド及び体育館をお借りして、広く参加できる場として運営サッカー、バドミントン、卓球、バスケットボール。
	浦和スポーツ塾	各界のスペシャリストをお呼びし、会員、保護者、地域住民などに広く開いた講演会を実施。
	チャリティ	開発途上国へのスポーツ用品（中古）の提供などを実施。これまで、ケニア、アフガニスタン等に寄贈。中古テニスボールの回収と学校への寄贈
	学び・遊び	工作教室、折り紙教室、実験理科教室など、様々なプログラムを、地域のボランティアの皆さんとともに提供していきます。
	ふらっと広場	常盤スタジオの午後の時間を地域に開放（主に子どもたち）
被災地支援	子どものスポーツ支援プロジェクト 毎月1家族100円をクラブネッツを通してスポーツ物資の支援等	
クラブライフ魅力アップ事業	企画委員会により季節ごとにクラブ会員が楽しみながら交流できる各種イベントや、各プログラムに+αを提供。	

☆ 2014年度のプログラム ☆

2014/03/17

体験参加が出来るプログラムもあります。詳細については、事務局までお問い合わせください。

プログラム	対象	曜日	時間	月会費(税込)	活動場所	
サッカー	月曜広場	年中・年長	15時～16時	2,160円	駒場サブグラウンド 初回チーム入りシャツ代 3,500円 年中・年長は 7・8月夏季休み	
		小1・小2	16時～17時			
		小3・小4	17時～18時			
		小5・小6・女子	18時～19時			
	木曜広場	年中・年長	木	15時～16時	2,160円	
		小1・小2・小3		16時～17時		
	スクール	小4～小6	水	19時～20時半	2,700円	浦和高校
ユース	U-15	水土日の週3日	各2時間	5,400円	浦和高校他 市内グラウンド	
生涯	U-18					
スパーシニア	全ての年代	土日祝				
	60歳以上	木	13時～14時半	2,160円	駒場サブグラウンド	
テニス	駒場キッズ	小1～3	17時～18時	2,700円	駒場体育館	
		小3・小4	18時～19時			
	駒場キッズ	年中・年長・ 小1・小2	木	16時～17時	2,700円	駒場体育館
	北小キッズ	小1～小3	火	18時～19時	2,700円	北浦和小体育館
	// インドア	小4以上		19時～20時		
	三室キッズ	小1～小4	火	17時～18時	2,700円	三室小体育館
	// インドア	小5以上		18時～19時		
	中尾キッズ	小1～小3	火	17時～18時	2,700円	中尾小体育館
	// インドア	小4以上		18時～19時半		
	本小インドア	小3・小4	木	17時半～19時	3,780円	本太小体育館
		小5・小6		19時～20時半		
	硬式キッズ	小3以上	水	17時半～19時	4,320円	天沼テニス公園
	天沼ナイター	硬式キッズ保護者			親子6,480円	
	初級	成人男女	水、木、金	9時半～11時	3,240円	市営コート他
	火		11時15分～12時45分			
中級	月		9時～10時半	4,320円		
	火		9時半～11時			
	金	13時半～15時				
シニア	60歳以上男女	水	13時半～15時	3,240円		
スタジオ	各種 ヨガ	高校生以上の女性	時間割は、別表をご確認ください。		1クラス2,160円 2クラス以上 で540円引き	領家スタジオ 常盤スタジオ
	ピラティス					
	各種エクササイズ					
	シニアYOGA	原則60歳以上女性	水	13時30分～14時20分		領家スタジオ
	シニア筋トレ	60歳以上男女	木	9時～10時		
	親子エクササイズ	親子(4歳以下)	火	10時20分～11時10分	2,700円	常盤スタジオ
のびのびスポーツ広場	年中・年長	水	15時30分～16時30分	2,160円	駒場体育館	
	小1～小3	金	15時～16時			
	小3～小6	金	16時～17時 17時～18時			
太極拳	全ての年代	土	15時～16時	1,620円	南菫公民館他	
シニア健康教室	60歳以上男女	新規の方は、月または水の午後クラス		3,240円	本太中学校他	
ルディック・ウォーキング	成人男女	木	14時～15時半	2,700円		
バレエ	幼児(年少～)	金	15時半～16時20分	4,320円	領家スタジオ	
	ジュニアⅠ	火・金	お問い合わせください	5,400円	発表会の参加必須 週2回8100円～	
	ジュニアⅡ	火・金		5,940円		
星空スポーツ広場 (サッカー/卓球/バドミントン/バスケット)	小学生～成人	土 HPに開催日掲載	19時30分～21時	1家族1回200円 中高生100円 近日料金改訂有	県立浦和高校 グラウンド及び体育館	

☆ 領家スタジオの周辺に駐車場はありません。自転車又は徒歩でお越しください。

☆ 入会金はありません。 ☆2種目参加の方は月会費が540円引きになります。 ☆星空スポーツ広場は、当日参加受付です。

2014年のスタジオプログラム

∞ 領家スタジオ プログラム ∞					
	月	火	水	木	金
9:10	金木	奥	伴	戸莉	宮本
§	アロマ YOGA	ストレッチ&バレエ	パワー-YOGA	シニア筋トレ	プラーナ(気)ヨガ
10:00					
10:20	金木		伴	長谷川	篠原
§	アロマ YOGA		フィットネス フラ	コーディネーション・ ピラティス	ピラティス (託児あり)
11:10					
11:30			金木		
§			アロマ YOGA		
12:20					
13:30	篠原		金木	小川	
§	シニア健康体操		シニア YOGA	ノルディック ウォーキング (14:00~15:30)	
14:20					

∞ 常盤スタジオ プログラム ∞					
	月	火	水	木	金
9:10	岡田	長谷川	休館日	土屋	岡田
§	ピラティス	ナチュラル・ ボディ・ヨガ		ヨガ フィット	ピラティス
10:00					
10:20	岡田	木暮		金木	富樫
§	フィットネス ヨガ	親子 エクササイズ		アロマ YOGA	ゆっくりヨガ
11:10					
11:30					
§					
12:20					
13:30					
§	一般開放	一般開放	一般開放	一般開放	
16:30					

4. 2014年度予算(案)(2014年4月1日~2015年3月31日):採決事項④

2014年予算		税抜	
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費収入	¥	80,000	
" 入会金収入	¥	-	
賛助会員(個人)	¥	10,000	
賛助会費(法人)	¥	100,000	¥ 190,000
2 受取助成金等	¥	1,944,000	
3 事業収益			
サッカー事業	¥	13,104,500	
フィットネス事業	¥	13,242,000	
テニス事業	¥	7,103,500	
地域事業	¥	306,000	
受託事業収益	¥	7,314,800	¥ 43,014,800
4 その他収益			
割引分			¥ -420,000
当期収入合計(A)			¥ 42,784,800
II 経常費用			
1 事業費			
サッカー事業	¥	8,587,300	
フィットネス事業	¥	11,260,700	
テニス事業	¥	5,217,400	
ふらっと広場運営事業	¥	1,692,100	
地域事業	¥	960,100	
その他事業	¥	7,314,800	¥ 35,032,400
2 管理費			
人件費	¥	1,807,800	
通信・運搬費	¥	1,218,400	
印刷・事務消耗品	¥	466,000	
施設・車両費	¥	1,536,000	
その他	¥	2,486,800	¥ 7,515,000
3 予備費			
当期支出合計(B)			¥ 42,547,400
当期収支差額(A)-(B)			¥ 237,400

2014予算前年決算比較			
科 目	金 額 (税抜)		
	2014予算	2013決算	比較
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費収入	¥ 80,000	¥ 85,000	¥ -5,000
" 入会金収入	¥ -	¥ 8,000	¥ -8,000
賛助会員 (個人)	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -
賛助会費 (法人)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
2 受取寄付金	¥ -	¥ 40,500	¥ -40,500
3 受取助成金等	¥ 1,944,000	¥ 2,830,000	¥ -886,000
4 事業収益			¥ -
サッカー事業	¥ 13,104,500	¥ 13,282,535	¥ -178,035
フィットネス事業	¥ 13,242,000	¥ 13,099,328	¥ 142,672
テニス事業	¥ 7,103,500	¥ 7,384,315	¥ -280,815
地域事業	¥ 306,000	¥ 1,041,191	
受託事業収益	¥ 7,314,800	¥ 9,514,833	¥ -2,200,033
5 その他収益		¥ 20,421	¥ -20,421
割引分	¥ -420,000		¥ -420,000
当期収入合計 (A)	¥ 42,784,800	¥ 47,416,123	¥ -4,631,323
II 経常費用			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 8,587,300	¥ 9,672,529	¥ -1,085,229
フィットネス事業	¥ 11,260,700	¥ 12,541,423	¥ -1,280,723
テニス事業	¥ 5,217,400	¥ 6,162,590	¥ -945,190
ふらっと広場運営事業	¥ 1,692,100	¥ 1,579,220	¥ 112,880
地域事業	¥ 960,100	¥ 1,135,469	¥ -175,369
その他事業	¥ 7,314,800	¥ 9,513,833	¥ -2,199,033
2 管理費			
人件費	¥ 1,807,800	¥ 2,532,216	¥ -724,416
通信・運搬費	¥ 1,218,400	¥ 1,212,977	¥ 5,423
印刷・事務消耗品	¥ 466,000	¥ 506,335	¥ -40,335
施設	¥ 1,536,000	¥ 1,487,641	¥ 48,359
その他	¥ 2,486,800	¥ 2,123,794	¥ 363,006
3 予備費			
当期支出合計 (B)	¥ 42,547,400	¥ 48,468,027	
当期収支差額 (A) - (B)	¥ 237,400	¥ -1,051,904	¥ 1,289,304

5. その他

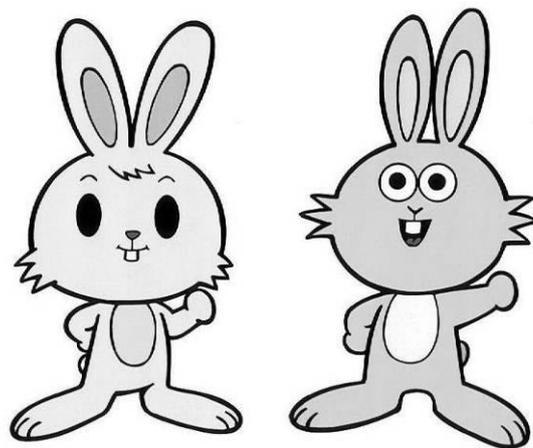
(1) 理事補充について (案)

2013～2014

理事(敬称略)

- 1 戸苺 晴彦 (理事長)
- 2 塩野 潔 (副理事長)
- 3 鈴木 公文 (テニス/中級コース会員)
- 4 萩原 紀男 ⇒ ご逝去
- 5 梶谷千恵子 (テニス/指導者)
- 6 原田 明 (サッカー/スーパーシニア広場会員)
- 7 清水 恵二 (サッカー/生涯コース会員)
- 8 小野崎研郎 (副理事長)
- 9 伊藤 謙 (サッカー/生涯コース会員)
- 10 金木 貴子 (フィットネス/インストラクター)
- 11 小川 貴 (常任事務局長)
- 12 中山 藍 (常任事務局員 クラブマネジャー)
- 13 遠山 茂 (サッカー/スーパーシニア広場指導者)
- 14 石井 亮二 (サッカー/生涯コース会員)

萩原副理事長ご逝去に伴い、テニス部門の理事が不足するため、
内村 久子(テニス/指導者)を理事として補充



NPO法人 浦和スポーツクラブ
(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4-5-6
電話 048-887-7140
FAX 048-679-1063
e-mail info@urawasc.org
HP-URL <http://www.urawasc.org>

2014.